

担当司祭様・教会委員長様
信徒の皆様・修道院長様

さいたま教区司牧センター 環境と貧困のデスク
担当者 クレーバー ディ ソーザ(司祭)

アイデア募集のご案内



＋主の平和

「穀物を収穫するときは、畑の隅まで刈りつくしてはならない。収穫後の落ち穂を拾い集めてはならない。ぶどうも、摘み尽くしてはならない。ぶどう畑の落ちた実を拾い集めてはならない。これらは貧しい者や寄留者のために残しておかねばならない。」(レビ記 19・9～)

さいたま教区環境と貧困のデスクから2通目のお便りをいたします。

新春を迎え、皆様におかれましては新しい年の四旬節、復活祭を迎える準備が始まることと思います。とくに昨年は司教様から新しいさいたま教区のビジョンが示され、皆様もその優先課題をご検討されてきたと思いますので、そうしたテーマによる準備をご検討されているかもしれません。そのような中、私たちのデスクは復活祭と四旬節の準備として、さいたま教区ビジョンのひとつでもある清貧(シンプルライフ)をテーマとすることを、今年もご提案させていただきたいと思っております。

そしてまた今回も、私たちができる5%削減のアイデアを募集いたします。お寄せいただいたアイデアは多くの方にご紹介してゆき、削減方法を思いつかなかった方でも、そのアイデアを聞いて、自分でも実行できる方法を見つけられたらすばらしいと考えています。この5%削減への取り組みは、私たちがキリスト者として生きる姿を見つめなおす「鏡」を手に入れることにもなると考えています。

最後に、毎年繰り返しのようになりますが、2011年新春の司教メッセージを以下に再掲いたします。

「・・・少し、わたしたちの生活に余裕を持たせることはできるはずですが、私自身に対する提案でもありますが、皆さんにも提案してみたいと思います。生活の中で5%削減して5%余裕を作り出すことです。それはそんなに難しいことはありません。たとえば、家事の時間を5%減らして、子供の話を聞く。家事の時間を仮に8時間とすれば、24分間です。残業を減らして5%の時間を作りだす。週に2時間ほどの時間を作りだすことです。その時間を自分や家族のために使うことができます。5%、食事を質素にすることも、家庭の電気、水道、車のガソリンなどを減らすこともできます。できる範囲で、それぞれのアイデアで5%を目標に時間、お金、物などを節減するのです。この5%が私たちの重荷を少し軽くし、より豊かな心を持つことにつながるのではないのでしょうか。

言い方を変えれば、今までの生活から5%、清貧に生きることです。その5%は神の似姿である人間の本来の姿に戻ることを可能にします。神と共に生きる喜びにつながるはずですが、それが、孤独のうちに生活している人や、いじめによって孤立している子供を兄弟姉妹として迎えることにつながれば、どんなにすばらしいことでしょうか。」

管下の小教区へこの手紙のメッセージが届きますように、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

祈りのうちに